



# 輪っしょい!

わっしょい みんなでかつごう いちのせき



えびしまへん  
**「ひらめき!油島探検<<蝦島編>>」** 謎解きをしながら地域の魅力を再発見

## 油島なのはな協議会

会長：武田 慶一 電子メール yushimananohanakyougikai@yahoo.co.jp

お問い合わせ先  
 電話：0191-82-4371  
 油島市民センター内

### 「ゆ・し・ま」な地域づくりを目指して活動

油島地区は、岩手県最南端の駅「油島駅」を擁する、豊かな水田に囲まれた人口約1,300人のどかな地域です。

平成27年3月に設立された油島なのはな協議会では、5つの専門部が「ゆ・し・ま」な地域づくりをスローガンに、それぞれの分野で活動しています。

### 「ゆ」=豊かな地域づくり

地元学研究部と、住みよい油島にする部が中心となり、自然・歴史・文化・農林水産物等の地域資源を活用した豊かな地域づくりを進めるため、協議を重ねています。

また、地元学について楽しく学べるよう、「油島お宝学習会」を毎年テーマを変えて開催しています。

### 「し」=親しみのある地域づくり

コミュニティ推進部が中心になり、地域住民相互の交流の輪が広がる笑顔あふれる地域づくりを目指して活動しています。また、人材発掘を進めるために「油島の助っ人」事業と称し、地区内や油島にゆかりのある人の特技を登録いただいています。

### 「ま」=ますます住み良い地域づくり

みんなで支え合い安全・安心で住み良い地域づくりを進めるため、住みよい油島にする部、地域安全安心部、福祉健康対策部が、環境整備や安全、福祉について事業に取り組んでいます。構成団体と協調し、事業の企画立案を行うことで、充実した内容の事業を行うことができます。



毎年開催している自主防災学習会

いちのせき協働ニュース  
 輪っしょい!  
 発行にあたって

本紙では、特色ある地域協働の取り組みや、市民センターの「熱い」取り組みなどを紹介します。  
 \*地域協働とは、地域の自治会、消防団や PTA など各種団体、市民、民間事業者（企業）等の多様な主体が、一定の地域において互いに、又は行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めるしくみです。

## 各地域の協働の取り組み



### 中里まちづくり協議会

会長：辻山 慶治 電子メール nakacen@icn-net.ne.jp

お問い合わせ先  
電話：0191-21-2152  
中里市民センター

中里まちづくり協議会は、平成27年2月22日に設立し、「ひとが輝き・地域が輝くまちづくり」を基本理念として地域づくりに取り組んでいます。

#### 高齢者に優しいまちがあらゆる世代に優しいまちになる

平成30年度から、エイジフレンドリーナカサト事業を実施し、介護サポーター養成講座やスキルアップ講座を開催しました。また、介護予防に有効なグッズの貸出事業を行っています。さらに高齢者の閉じこもり解消や介護予防教室の充実を図るため、いきいき100歳体操に取り組みました。

その後、サポーターらの呼びかけで100歳体操クラブが立ち上がり、活動の支援を行っています。



いきいき100歳体操で健康長寿に！

#### カラオケ大会で交流

エイジフレンドリーナカサト事業のひとつとして、行政区対抗カラオケ交流会を開催しました。

コミュニティ力を高めることを目指し、ソロの部、デュエットの部だけでなく応援合戦も行いました。

各行政区から出演者と大応援団が集まり、会場が大いに盛り上がりました。行政区内はもとより、行政区同士の交流を図ることができました。



行政区対抗カラオケ大会交流会での応援合戦

## 各地域の協働の取り組み



### 室根まちづくり協議会

会長：三浦 幹夫 電子メール murone-machikyo@helen.ocn.ne.jp

お問い合わせ先  
電話：0191-64-2347  
室根市民センター

#### 室根の農業を考える会

室根まちづくり協議会産業振興部会は「産業振興・地域資源を活用したまちづくり」を目標に活動しており、平成29年度に第1回産業振興部会を開催しました。

稲作農家を中心に20人が集まり、「室根の農業を考える会」と題して全6回の懇談会を開催。「高齢化」「人材確保」「空き地の活用」について、「空き地を利用して稲を作り注連縄(しめなわ)を作ってはどうか」「野菜を栽培し漬物を作ってはどうか」などの意見が出されました。



室根の農業を考える会で知恵を絞る

#### 特産品開発プロジェクト

##### ◆プロジェクトメンバー募集

平成30年度は道の駅で販売できる商品の開発を進めました。地域から商品開発に詳しいアドバイザー2人を部会員に加え「三升漬け」「しその実漬け」の開発プロジェクトメンバーを町内で募集しました。

##### ◆プロジェクト始動！

本年度はプロジェクト参加者6人で唐辛子と麴と調味料を1升ずつ加えて作る「三升漬け」に絞り開発を進めています。

4～5月にアドバイザーとプロジェクトメンバーの畑に4種類の唐辛子を植え、8月に収穫。3種類の醤油と1種類の味噌で13種類の樽を仕込みました。

11月には試食会を開催し、さらに検討して美味しい三升漬けを開発し、商品化を目指します。



三升漬の仕込みをするメンバー

## せんまや逸品の会

【お問い合わせ先】 連絡先 一関商工会議所千厩支所  
電話 0191-53-2735

### ★つるし飾り 女の業で 街おこし

当会では、空き店舗の活用と地域の方々と連携した街おこしを目的に、平成22年度から重陽の節句(9月9日)に合わせ、「せんまやつるし飾り物語～重陽の節句 布遊び～」を開催しています。

10回目となる今回は9月13日から15日までの3日間、千厩本町商店街の空き店舗を会場に開催し、会員が作成した縁起物のつるし飾りや、特別展示として東山町の方々の作品など多数展示し、多くの来場者がありました。これからもつるし雛の製作に励み、イベントを継続していきたいと思ひます。



会員が一針一針  
思いを込めて  
作ったつるし飾り

### 会員募集中

会員12名で毎月第2水曜日の午後2時から午後4時まで、千厩商工会館で活動しています。興味のある方は是非遊びに来てみてください！ご見学の際は事前にご連絡ください。

## 変集プロダクション-FUN-

【お問い合わせ先】 代表 芦 謙二 電話 0191-75-4049  
Facebook「変集プロダクション-FUN-」



### ★若者のアイデアで「楽しそう」を実現したい！

当団体は、「地域を変えたい」人の集まりです。会員は20代から40代の若者(自称も含む)で、「自分たちの住んでいる地域を楽しみたい」という思いから、平成30年に設立し運営しています。

現在は、平成30年に開催した「大東変集会議」のアイデアや意見をもとに、地域の加工品開発や事業を企画しています。今年4月には大東町渋民の田んぼの真ん中で「あぜ道マルシェ」を開催。

また、12月には「大東町にお酒を飲む場所がない！」という話題から、「居酒屋チャレンジ」を検討中です。大東町内・外の枠を越えて、一人ひとりの考えている「楽しそう」の実現を目指し活動しています。



「変」なこと  
をしよう！

### 会員募集中

「こんなことしたいな」と漠然と考えていることを実現できる機会になればと思います！興味のある方はぜひご連絡ください！住んでいるところ、年齢に制限はありません。

## 二日町夏祭り実行委員会

【お問い合わせ先】 代表 吉田 浩和  
電話 0191-63-3810

### ★夏だ・祭りだ・元気な地域おこし

二日町夏祭りは、毎年8月14日に開催しています。

地域では、夏祭り実行委員会を組織し、自治会、女性部、子ども会、青年部、太鼓団体等のみんなが関わって作り上げています。

祭りでは、盆踊りステージ発表やミニ花火打ち上げ、夜店などを手作りでっており、本年度は黄海数え唄の盆踊りやイワナ・ジグマスのつかみどりをを行い好評でした。また、地元企業に勤務するベトナムからの研修生も参加し、祭りを盛り上げてくれました。

二日町夏祭りは、今では二日町の祭りから、黄海地区の恒例の祭りとなり、お盆に帰省した方の故郷を感じる場にもなっています。



祭りは盛況！

### 継続への意欲

祭りが無いまちは、寂しい！これからもイベントの充実を図り、誰もが楽しめて、誰もがまた来年も参加したいと思う祭りにしていきます。

# 第11回 市民センターの今、ココが熱い!

真柴市民センター編

当市民センターは、平成29年4月に真柴まちづくり協議会が指定管理者となり、施設管理や市民センター事業を実施しています。今後も地域住民の方々や真柴まちづくり協議会と協力して、地域のニーズを取り入れた事業を活発に進めていきます。

## 今回の『ココ熱』① 奥州街道・旧鬼死骸村 探検ツアー

おにしがい



真柴まちづくり協議会と協力して、地元に残存する奥州街道の探検ツアーを企画。6月23日には事前の準備として、地域ボランティアの皆さんにより、岩手県側の2.4kmの草刈りを実施しました。

6月30日には雨の中熱心な参加者と共に奥州街道を散策。市民センターでは牧澤神楽が披露され、歴史の色濃い地元文化を発信することができました。



歴史に思いをはせ、雨の中元気に完歩した皆さん。



こうして散策できたのも地元の皆さんの管理のおかげ。未来の子どもたちにも残してあげたい財産です。

一度は途絶えた伝統の牧澤(まぎさわ)神楽。現在は若い世代が復活させ、迫力ある演舞を披露してくれました。



**魅力的な地名が残る 旧鬼死骸村 onishigai**  
岩手の玄関口となる真柴地域は、奥州街道が今も昔の姿を留めています。「鬼死骸村」という珍しい地名は、地域の歴史財産として後世に残すべきと考えています。

## 今回の『ココ熱』② 鬼死骸菜園でまちおこし事業



休耕地を耕起して、畑づくりをしている様子



早朝から協力して草取りをしているプロジェクトチームの皆さん

休耕地の有効活用、地域景観の保全、コミュニティの活性化を図る取り組みとして本年度から「旧鬼死骸村」にある休耕地を整備して貸畑事業をスタートしました。野菜づくりの経験の無い方々が参加し、近隣の農家の方にアドバイスをいただきながら、汗を流しています。

休耕地の増加は、地域の大きな課題。

旧鬼死骸村を起点として、少しずつ拠点を増やせるよう試行錯誤しているところです。

今後の課題としては、利用する方々の利便性の向上と、地域の子どもたちに田植えや稲刈り体験ができる場所として提供していきたいと考えています。

### 事務局一同からひとこと

自分たちの地域を大切に思う人の輪が広がるよう、子どもたちも一緒に楽しめる活動に取り組み、情報発信していきたいと思っています。

